

高圧ガス事故事例情報シート

整理番号 2019-08	事故名称 LPガス容器配送中における漏洩			
発生日 2019年1月13日	事故現象 噴出・漏えい		原因大分類 人	KHK Code
事故発生場所 川崎市	ガスの種類 液化石油ガス		原因中分類 誤操作、誤判断	
事故区分 移動	死亡 0	重傷 0	軽傷 1	原因補足
事故状況 車両荷台左側後方の煽り板を固定する4つあるバネカンのうち2つを掛け忘れたまま、車両を移動させたため、交差点右折時に煽り板が遠心力で開きボンベ14本が落下したと推察される。落下の衝撃でボンベ1本のバルブが緩みガスが漏洩した。運転手は、すぐにバルブを閉止しようと試みたが、容器キャップが噛んで外れず、キャップ穴に指を入れてバルブを閉止した。慌てていたため常備している革手袋を使用せずに素手で行ったので液状のガスが手にかかり、両手の指に凍傷を負った。				
事故原因 煽り板を固定するバネカン(図1)を2箇所掛け忘れた。また、漏洩を止めようとバルブを閉止する際に革手袋を使用しなかったため、指に凍傷を負った。				
				
図 1				
措置・対策 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の各運転手に対し、事故概要の説明と安全な移動及び緊急時の対応を周知した。 ・管理者による各出庫拠点の出発前巡回指導を開始した。(各運転手に対し、最低月に1回以上) ・車両移動時ごとに車両の周囲を1周し、積荷の固縛状況の確認を徹底するようにした。 ・各運転手に対し、緊急時に落ち着いた行動が取れるような対応策を指導した。 ・今後、事故防止に関する理解を深めるためディスカッションや小テストも実施する。 ・車両事故削減を目指しドライブレコーダーの機種変更を進める。 				

高圧ガス事故事例情報シート

教訓

- ・事故発生場所は市街地の交差点であったが、幸いにも事故発生時には、周囲に他車、歩行者等がいなかった。事故発生曜日・時間帯によっては、甚大な人的、物的被害をもたらしていた可能性がある。
- ・煽り板の固定忘れは重大事故に直結することを肝に銘じ、出発前に容器固縛状況と車両状態の確認が重要である。
- ・今回の様にガスが漏洩した場合には、凍傷防止のために革手袋を使用する。
- ・高圧ガスを取り扱う際には、そのガスの危険性を十分に認識し、少しのミスが重大事故につながることを理解しておく。日常の慣れた作業であっても、油断することなく複数人で確認することが重要である。